

# 木城町 議会だより MIKAI

令和7年12月議会

No. 151

発行所:宮崎県木城町議会

発行日:令和8年3月16日

印刷:株式会社 宮崎新生社印刷

もくじ

- ◆特集「子育てオモロ〜」 …… 2
- ◆定例会報告 …… 5
- ◆一般質問 …… 8
- ◆まちの話題 …… 14



特集

令和7年11月27日に開催された「第1回 子育てオモロ〜」

# もっと自由な子育てをしよう



## 子育てオモロ～発表会 主催者の 税田 景子さん



最近、子育てをしているお母さんたちは、世代間のつながりが希薄になっているのでは、と感じています。ご自身も子育てで悩んだ時期があり、仕事と家事と育児で時間に追われ「助けて…」が言えず苦労したことも…。

困った時は、まず誰かに話せる環境がある事が大切で、お母さんたちが気軽に対話できる環境で、もっとのびのびと子育てができたらいいなと語ってくれました。



## オンライン意見交換会

全国、30カ所で同時刻開催して発表会のあとにオンラインで意見交換会を実施しました。



## 子育てにはいろいろな方法があると4名の方が発表をしてくれました!



### 山口 まさみさん(都農町在住)

大自然の中で子育てをしてきた経験を発表。  
現在は自家製野菜で加工品を作り販売をしている。



### 柄本 亮介さん(木城町在住)

木城町に移住してきて、子供たちと生活も遊びもガチンコで勝負していてとても楽しい。木城町をもっと盛り上げたいと語る。



### 日高 祥子さん(宮崎市在住)

不登校の子供を2人育てながら、初めのうちは悩み苦しみながらの生活でしたが、現在はそれを受け入れ楽しく子育てをしていると語ってくれた。

みんな誰かの  
宝物!



### 永友 綾香さん(木城町在住)

足が不自由ながらも、出産・子育てをしていく中で人に頼りながら子育てをしても恥ずかしい事ではなく、お互い支え合って子育てをした方がもっと楽しくなると語ってくれた。



# 本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 2026年 議長あいさつ



町民の皆様におかれましては、日頃より議会活動に対する深いご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。

衆議院選挙も終わり木城町を取り巻く環境は年々変化しております。物価高騰が進む中、人口減少や地方創生という大きな社会構造の問題を抱えております。その中で議会改革の一つとして約20年ぶりに議員の候補者育成に向け議員定数削減、報酬引き上げを検討する特別委員会を昨年立ち上げました。若い世代や女性の方達が町政に幅広く参加をしていただければと思います。

結びになりましたが、本年度も議員一同、町民の皆様の為に精一杯活動してまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いたします。

木城町議会議長 眞鍋 博

## 木城町議員一覧

議席番号	氏名	常任委員会	その他
1	矢野 哲也	産業文教 議会運営	副議長、議会広報編集特別委員長、 議員報酬及び定数検討特別委員長
2	荒川 浩	総務 議会運営	総務常任委員長
3	久保 富士子	産業文教	
5	桑原 勝広	産業文教 議会運営	産業文教常任委員長
6	中武 良雄	総務	
7	後藤 和実	産業文教 議会運営	
8	(欠員)	—	
9	甲斐 政治	総務	新田原基地対策特別委員長
10	中竹 義一	産業文教 議会運営	議会運営委員長
11	眞鍋 博	総務	議長

※議席番号の4番は欠番。

## 第9回 議会定例会

### 【総務常任委員会審査報告】

#### 条例の一部改正

##### 木城町役場課設置条例の一部を改正する条例の制定について(総務財政課)

福祉保健課が二つに分かれてサービス向上に努めます。

福祉共生課・・・地域共生支援係  
こども支援係  
高齢者支援係  
健康保険課・・・健康推進係  
国保年金係  
介護保険係

環境整備課が建設水道課になります。

##### 木城町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(福祉保健課)

保護者の就労に関係なく、誰でも預ける事ができる。生後6ヶ月より、3名を予定、申請をして登録が必要です。(詳しいことは福祉保健課へお尋ねください。)

##### 木城町多世代交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について

現在建設中の多世代交流センターの建物を取得するために条例で定めなければならない。

#### 指定管理者指定

##### 木城町多世代交流センターの指定管理者の指定について

木城町多世代交流センターの管理運営を木城町社会福祉協議会に委託する。

##### 債務負担行為

期間 令和8年度から令和12年度(5年間)  
限度額 181,830千円



木城町多世代交流センター

#### 補正予算関係

##### 令和7年度 木城町一般会計補正予算(第7号)

##### 【総務財政課:歳出】

・工事請負費 歴史と文化をつなぐ高城の  
にわ交流拠点整備事業

##### 旧江藤医院の一部解体工事費

(入院棟他) 15,057千円  
総概算事業費 339,227千円



### 指定管理者の指定

木城温泉館「湯らら」、木城町農産物販売所「菜っ葉屋」、木城町石河内活性化センター、石河内テニスコート、郷の駅「石河内」、木城町中八重緑地公園、木城町ピノッQ館の指定管理者の指定について

一般社団法人木城町ふるさと振興協会に、令和8年4月1日から令和13年3月31日まで指定管理をお願いすることになりました。

指定管理委託料限度額（5年間）  
**33,900万円**



湯らら

木城えほんの郷の指定管理者の指定について

木城えほんの郷みどりのゆりかご協会にお願いすることになりました。

指定管理委託料限度額（5年間）  
**14,750万円**



えほんの郷

令和7年度 木城町一般会計補正予算(第7号)

【町民課：歳出】

- ・戸籍システム用端末購入費用
- ・来年度(時期は未定)から、戸籍にふりがなが付くようになるため、そのための戸籍システム用端末の購入費用です。

### (教育課)

- \*台湾の建成國民中學(32名)が、3月2日に来町されます。需用費、横断幕作成費として、

**144,000円**

- \*2月21日に宮崎県、新富町合同イベントの参加のため、可動式ボルダリング運搬費として、

**32,000円**

- \*トレーニングセンターの消防用受信機取り換修繕費として、

**739,200円**

### (地域政策課)

- \*中之又地域のゆず、シイタケの商品開発を取り扱う合同会社設立に向けて、中之又笑楽校改修建築確認申請手数料として、

**46,000円**



中之又笑楽校

# 議案賛否表 (※議長は裁決には加わりません。)

○:賛成、×:反対、欠:欠席

議案 番号	件名	矢 野	荒 川	久 保	桑 原	中 武	後 藤	甲 斐	中 竹
82	木城町多世代交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
83	木城町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
84	木城町役場課設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
85	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
86	木城町児童館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
87	木城温泉館「湯らら」、木城町農産物販売所「菜っ葉屋」、木城町石河内活性化センター、石河内テニスコート、郷の駅「石河内」、木城町中八重緑地公園、木城町ピノック館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○
88	木城町多世代交流センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○
89	木城えほんの郷の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○
90	令和7年度木城町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○
91	令和7年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○
92	令和7年度木城町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○
93	令和7年度木城町簡易水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○
94	令和7年度木城町下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○
95	西都児湯障害認定審査会共同設置規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○

## 補聴器購入助成支援について

**答** 助成する方向である



**問** 補助制度の空白が生じている現状において、加齢性難聴という聞こえの低下は認知症やうつ病のリスク要因であると同時に、町民の生活の質に直結する重要な健康課題である。現在、加齢性難聴者の実態把握は行われているのか。

**答** 福祉保健課長

加齢性難聴に特化した調査は行っていないが、要支援者を含む介護認定者の約40%が加齢性難聴を含めた聴力の問題を抱えているのではないかと推測できる。

**問** 補聴器購入助成は福祉政策だけでなく、町民の社会参加と尊厳を守るための支援であり、町民が社会に参加し続けるための命綱である。助成制度に向けた検討は行われているのか。

**答** 町長

補聴器助成を検討しているが、公的支援が受けられない軽度から中程度の難聴者に対して、助成を令和8年度当初予算に計上予定している。

**問** すでに、川南町役場では議場や公共施設等に、導入が進んでいる。難聴者や聴力低下者の聞こえを支援する設備であるヒアリンググループの設置の検討は行われているのか。

**答** 福祉保健課長

調査等を行ってきたが、導入には至っていない。

## 有機農業の取り組みについて

**問** 有機農業従事者の現状や今後の担い手育成、町の支援体制について伺う。

**答** 町長

消費者、生産者、事業所一体となってオーガニックを進めていく取組みを木城町独自で行っており、有機農業の推進と、担い手確保等々を進めていきたい。

**問** 地域活動や学校教育の中で綾町のように、幼少から有機農業に触れる機会を作り、農業に親しむ、教育的取組が必要ではないかと考えるが。

**答** 町長

後継者育成・確保には重要なことである。子どもの頃から老若男女、農業に親しむ教育や取組みは有意義であり、必ず行っていかななくてはいけないことだ。今年10月よりオーガニックアカデミー開講。今はサポートセンターの設置、オーガニックスクールの開校等検討・準備を進めている。

**答** 教育長

授業で取り上げ、有機農業の良さや特徴について学ぶ計画をしている。

**問** 耕作放棄地の有効活用、地域コミュニティの活性化、有機農業への関心を高めてもらうために市民農園の開園が待たれるが進捗状況は。

**答** 町長

令和8年度開設に向けて動いており、化学的に合成された農薬とか肥料の使用を制限した市民農園を設置したい。また、ここで作った作物については、独自認証制度による認証農産物を考えており、制度設計を進めている。これを、ひとつの木城町の農業ブランド力の向上に繋げていきたいという考えを持っている。

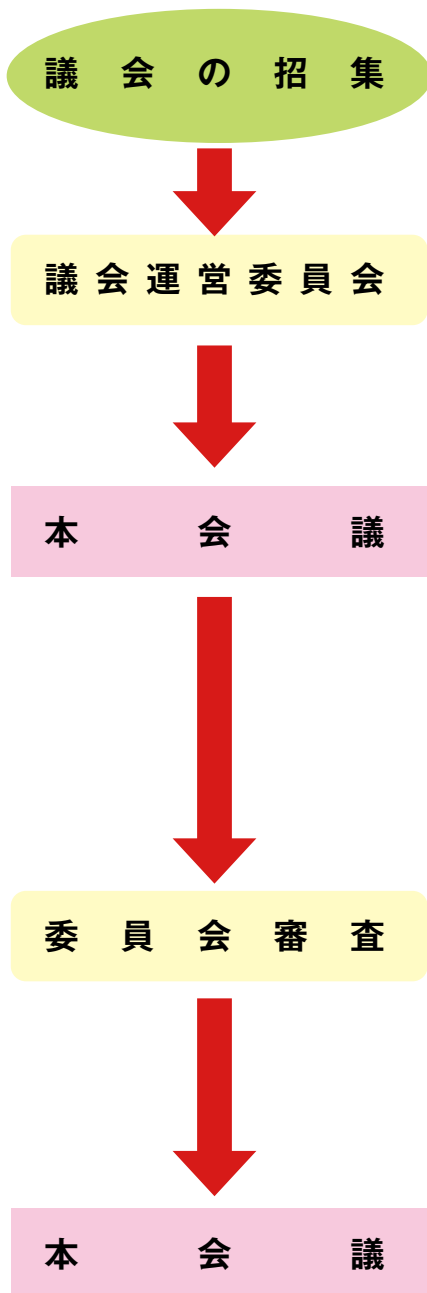
# 木城町議会について

## ■ 議会の開催（定例会と臨時会）

「定例会」は、町条例の規定により、毎年3月、6月、9月、12月の4回招集されます。  
「臨時会」は、必要がある場合において、あらかじめ告示された付議事件を処理するために招集されるものです。

定例会及び臨時会とも町長が招集しますが、臨時会は議員からの請求に基づいて招集される場合もあります。

## ■ 議会運営の流れ（定例会）



町長が招集日を決めて告示します。

議会運営委員会

会期日程・議事日程等を協議決定します。

本会議

開会  
会期の決定  
議案上程  
提案理由説明（提出者）  
議案に対する質疑・答弁  
委員会への議案審査付託  
一般質問（通告制）  
※一問一答式を導入（H20.6）



（写真：本会議場）

委員会審査

付託議案の審査  
（各課・局からの説明）  
現地調査  
委員会の意思決定



（写真：委員会現地調査）

本会議

委員長の委員会付託議案審査報告  
委員長報告への質疑  
討論  
採決（議会の意思決定）  
閉会

## 本会議

執行部及び議員に提案された議案などを審議し、最終的な意思決定を行います。

また、定例会において議員は、町の行財政全般にわたって執行機関に「一般質問」をすることが認められています。



## 常任委員会

議会で取り扱う問題は、広範囲にわたり複雑化、専門化していますので、審議の正確性、迅速性という観点から、「総務」「産業文教」の2つの常任委員会を設置しています。

委員会では本会議での付託を受けて、執行機関の事務に関する調査、議案・請願等の審査などを行っております。

## 議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項などについて調査や議案等の審査を行うために設置しています。

## 特別委員会

「議会広報編集特別委員会」は「議会だより」の編集・発行等を行なうため設置されています。

なお、そのほか必要がある場合には議決によって各種特別委員会が設置されます。

9月定例会において「決算審査特別委員会」が毎年設置されています。

3月定例会において「予算審査特別委員会」が毎年設置されています。

令和6年12月定例会から「新田原基地対策特別委員会」が設置されました。

令和7年9月定例会から「議員報酬及び定数検討特別委員会」が設置されました。

### 第4弾

議員のプライベートを公開します。今回は甲斐議員と中竹議員を紹介します。

### 甲斐 政治 議員



- ① 趣味：読書（最近読んだ本は、「分極化時代の日本の民主主義」料理、（年に数回、妻とアクマキをつくる。）、ドライブ
- ② 休日の過ごし方：1歳と3歳の孫と過ごす時間が楽しみ。
- ③ これからの夢：四国八十八ヶ所を歩いて巡ること。

### 中竹 義一 議員



- ① 趣味：ソフトテニス指導。庭の手入れ。
- ② 座右の銘：一期一会。
- ③ 尊敬する人物：今は亡き母。

# 議会活動報告

## 9月

- 5日～12日 第7回木城町議会定例会 (全議員)  
 12日 第228回宮崎政経懇話会  
 児湯・西都地区例会 (桑原議員)  
 15日 木城町「敬老の日」大会  
 16日 高齢者叙勲伝達式 (議長)  
 17日 新田原基地におけるF35Bによる飛行実演  
 (議員)  
 20日 令和7年度47回どんぐり保育園運動会  
 (副議長、総務常任委員)  
 22日 交通安全広報パレード出発式 (議長)  
 25日 第2回「夏だ！まつりだ！全員交流会だ！」  
 (議長他議員)  
 28日 令和7年度めばえ保育園運動会  
 (議長、産業文教常任委員)

## 10月

- 1日 議会全員協議会 (全議員)  
 議会広報編集特別委員会  
 (議会広報編集特別委員)  
 (株)みやぎサンミート季穰 新工場竣工式  
 (議長)  
 6日 議会広報編集特別委員会  
 (議会広報編集特別委員)  
 木城町シルバー人材センター来庁  
 (議長)  
 7日 第229回宮崎政経懇話会  
 児湯・西都地区例会 (総務委員長)  
 9日 宮崎県町村議会議長会 臨時総会 (議長)  
 宮崎県町村議会議長会議員大会 (全議員)  
 14日～15日 児湯郡(市)町村議会議長  
 会議長・局長行政調査 (議長)  
 17日 第21回木城町さんさんクラブ大会 (議長)  
 17日～18日 児湯郡(市)町村議会議長  
 会議長・局長行政調査 (議長他)  
 18日 木城ふるさとまつり  
 20日 議員報酬及び定数検討特別委員会  
 (議員報酬及び定数検討特別委員)  
 28日 令和7年度県道東郷西都線期成同盟会  
 県知事、県土整備部長要望活動  
 (議長、産文委員長)  
 29日 森林・林業・林産業活性化九州大会  
 (議長、産業文教常任委員)  
 森林・林業・林産業活性化九州大会交流会  
 (議長、副議長、産業文教常任委員長)

- 31日 議会全員協議会[11月期] (全議員)  
 ペーパーレスシステム「SideBooks」  
 操作説明会 (全議員)

## 11月

- 1日 第20回「水と緑の森林づくり」  
 県民ボランティアのつどい  
 (産業文教常任委員長)  
 令和7年度木城町生涯学習のつどい大会  
 (議長)  
 令和7年度木城町文化協会芸能発表会  
 (議長他)  
 5日 宮崎県町村議会議長会幹部職員研修会  
 (議長外2名)  
 7日 児湯郡(市)議長会定例会 (議長)  
 8日 米良の神楽まつり (議長他)  
 10日 県法人会連合会要望活動 (議長)  
 17日～18日 町村議会議長全国大会 (副議長)  
 15日 毛呂山町産業まつり (議長、総務常任委員)  
 16日 関東木城会 (議長、総務常任委員)  
 高鍋高校ラグビー部全国大会祝勝会・  
 特別後援会活動発表式 (副議長)  
 17日～18日 産業文教常任委員会  
 所管事務調査 (産業文教常任委員)  
 20日 公共の建設発注に係る要望 (議長)  
 22日 第50回木城町女性のつどい大会 (議長)  
 25日 第66回畜産共進会出品慰労会  
 (議長、産業文教常任委員長)  
 26日 議会運営委員会 (議会運営委員)  
 第8回木城町議会臨時会 (全議員)  
 宮崎県町村議会議長会議会広報研修会  
 (広報編集特別委員)  
 29日 議会と消防団との意見交換会 (全議員)



消防団との意見交換会

## 12月

- 1日 議会運営委員会 (議会運営委員)  
 議会全員協議会 (全議員)  
 議員報酬及び定数検討特別委員会  
 (議員報酬及び定数検討特別委員)

## 産業文教常任委員会調査研修 (報告書を一部抜粋)

- 日 時:令和7年11月17日~18日  
■研修先:沖縄県うるま市  
■参加者:桑原勝広委員長、久保富士子副委員長、矢野哲也委員、後藤和実委員、中竹義一委員

- 研修目的:うるま市の有機農産物の調査について、民泊の取り組みについて、学校教育の取り組みについて、勝連小学校の取り組みについて

有機農業産物の市場調査の為、うるマルシェにうかがった。「食を通じてうるまを元気に」を基本理念とし、農家数や耕作面積の減少、担い手不足による高齢化などの課題を解決する使命を帯びた、うるま市農水産業振興戦略拠点施設です。軌道に乗るのに、軌道に乗るのに、3年かかったとのこと。今は、年間約130万人訪れる施設であります。

うるマルシェ総括支配人は、リピート客を増やす施設運営を軸にお客様のニーズにあった商品展開を心掛けていることが、生産者皆さんの所得向上に繋がっている。うるマルシェ側によると、有機JAS認定マークを付けて販売していることは勿論のこと、他に農薬を使用していない産物の見分けをする為に、うるマルシェ独自のシールで分けられているとのことである。



うるマルシェ独自マーク



身近な生産者たち



市場調査状況

(合同会社 禮之(あやの)会、うるま民泊について)

沖縄県教育旅行民泊は2019年度県内37団体・離島6団体が事業展開している。うるま民泊は、地域性を活かした民泊づくりとして「人育て」をテーマにコミュニケーション能力向上を目指している。ただ文化・体験・経験することが、目的ではなく、体験を通じ「人とのコミュニケーション能力を高め」、自分の思いをどう伝えるか。修学旅行生は、お客様扱いはせず、受け入れる側とのコミュニケーションによりお互いの違いをどう受け入れるか。

信頼関係を構築しお互いを知り、相手を思いやり、受け入れる。民家体験泊を基軸に据えた観光産業振興を目的にしている。

受入実施の民家は、禮之会のルールで、心配事・困りごとは、事前準備で解決しておく。

安全対策の徹底等講習会を実施し、情報共有している。

各民家の意向を尊重し個性を活かし、各自受け入れを行っている。安心安全を第一に実施し、現在70軒の民泊が稼働している。

生徒は、育った家庭環境・個人の特性の違いを汲み取り、民家の方も若い世代の特性・環境地域性の違いを理解する事を重要視している。

修学旅行の民泊の受け入れ事業が地域にもたらす、経済的・文化的効果は大きい。

例えば、買い物で言えば、食材等あらゆる物品の購買による効果。観光地では、各店舗での購入、来館者数の増加。文化では、伝統文化継承(三線、方言)食文化、平和事業など多岐にわたっている。

ないない町、木城町の町づくりの一環として、この体験型民泊事業を石河内地区宿泊施設を中心に展開できないかみんなで考えるべきではないか。

石河内地区には、武者小路実篤の新しき村、木城えほんの郷、自然と遊べる川・山が身近にあります。一つ柱を軸に、周りを固めていく政策・流れがあるストーリー性のある政策が必要ではないでしょうか。その第一歩が人を呼べる宿泊施設ではないでしょうか。



禮之会(あやのかい)との研修

(うるま市教育委員会の取組みについて)

うるま市は、「うるまみらい」という学校教育アクションプランを令和6年から3か年で取り組んでいる。「生きる力」を身につけ、高い志をもった「うるまっ子」を育てる事を目的にあげている。

中でもシティズンシップ(社会の一員として主体的に参加し、より良い社会を作る力)の育成に取り組んでいることに驚いた。

うるま市は、小学校16校・中学校8校・小中併置校2校計26校あり、生徒も小学生8,709人・中学生3,962人、計12,671人、教職員850人である。

学校教育の基本目標は、郷土に誇りを持ち、未来を拓く人づくりとし、

#### 1) 学びを変えるー ICTを活用した授業へ

タブレット利用が小学校68.4%中学校79.1%全国平均より約25%以上高い。

「ロイロノート」の導入やデジタル教材を活用している。

子ども一人一人に寄り添えるよう、授業・家庭での自主学習に活用できるデジタルドリルを導入し子どもに応じた学習をしている。

#### 2) 誰一人取り残されない、学校生活応援課設置。

毎日朝礼時・帰る時、端末上に自己状態をマークで知らせるシステムを利用し、先生方の子どもへの「みとり」を少しでもカバーできるようにしている。人を大切に「聴く」ことから生まれる安心・安全な学級づくり。勇気づけ(価値づけ)の言葉をかける。名前をよんで価値を付ける。子ども同士の聴き合う雰囲気づくり。子どもの考えを取り上げ・みんなへつなぎ、深める。豊かな関わりで勇気づけの教育をおこなっていく。



うるま市教育委員会との研修

#### 3) 市民協働学校づくり(わつたーわらびんちやー)

市民協働学校制度を核として、学校の運営体制の再構築・学校改善の道筋を探り、地域に開かれた教育の実現を目的にしている。

現在、学校教育は、端末を利用して学習能力は上がってくるでしょうが、必要なのは、子ども同士の関わり、先生との関わり、先生同士の関わり、地域との関わり等、対話する人づくりが大事であることが改めてわかりました。

#### (勝連小学校について)

勝連小学校教育の目標は、「明るい笑顔と元気なあいさつができる、勝連わしの子」の育成です。

各学年間仕切り壁はありますが、廊下との壁はなくオープンでありました。

しかし、各部屋の音は気になりません。

授業は端末を利用した最先端のものですが、一人一人に目が行き届いている気配りされた学校でした。



勝連小学校視察

今回の研修では、人と人とのコミュニケーションの大事さ、それと、うるま民泊・うるま市教育委員会は、それぞれの方向性を持ちながら活動しているが、地域全体を巻き込み躍動している事を学ばせていただきました。



# まちの話題



町内で新たに開業したお店を紹介します。

## 肉の西山



お仕事の内容：食肉の加工 & 手作りの唐揚げ等の販売をしています

店主：西山 翔敦 にしやま しょうと

営業時間：平日 10時～13時、16時～18時。土曜日 10時～13時。休みは日曜日・祝日です。

場所：出店交差点の北側、出店公民館前あたりになります。

連絡先：090 - 2589 - 0218

開店理由：開業する店を探していたところ、木城町民の方からの紹介をいただきそのやさしさに感謝して木城で開業することに決めました。

### ひとこと

木城町に移住して新しく子供も授かりました。  
町民の皆さんに喜んでいただけるような店づくりをしていきたいと思っておりますので  
よろしくをお願いします。

## 議会傍聴をしてみませんか！



次の議会定例会は**3月**です。

定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、  
議会事務局までお尋ねください。

**TEL 0983-32-2213** (直通)

議長 眞鍋 博	発行責任者	委員	委員	副委員長	委員長	編集委員
		甲斐	桑原	中武	矢野	
		政治	勝広	良雄	哲也	

木城町ホームページに議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。  
令和6年12月議会（定例会）から本会議の3日間のみ（初日、一般質問、最終日）録画配信をしています。

〈URL〉 <https://www.town.kijo.lg.jp>



木城町 HP



木城町議会 HP

## 議会傍聴メーター

2025年4月議会から  
議会傍聴に来られた人数です。

**0 2 7**